

介護用入浴機器の安全手すりに関する ガイドライン

005

2024年2月16日 制定

日本介護用入浴機器工業会

Japan Bathing System for nursing care Association

序文

このガイドラインは、介護用入浴機器の安全手すりに関して統一した安全性評価項目例を定めることにより、会員企業の介護用入浴機器の安全手すりの品質を向上させることを目的に制定するものである。

1. 適用範囲

このガイドラインは、介護用入浴機器の安全手すりの評価項目例について定める。

2. 引用規格

2-1. このガイドラインは、次の規格を引用している。

- ・ JIS T 9201 : 2016 : 手動車椅子
- ・ JIS T 9203 : 2016 : 電動車椅子
- ・ JIS T 9260 : 2011 : 福祉用具-入浴用いす
- ・ JIS C 60068-2-30 : 環境試験-温湿度サイクル試験
- ・ JIS K 7350-1 : プラスチック-実験室光源による暴露試験方法
- ・ JIS Z 2371 : 塩水噴霧試験方法
- ・ JIS K 7114 : プラスチック-液体薬品への浸せき効果を求める試験方法
- ・ JIS T 0993-1 : 医療機器の生物学的評価
- ・ JIS K 7202-2 : プラスチック-硬さの求め方
- ・ JIS Z 9080 : 官能評価分析-方法
- ・ 福祉用具共通試験方法 : 手動車いすの認定基準及び基準確認方法

3. 用語及び定義

このガイドラインで用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1 安全手すり

入浴時の利用者の安全性を高めることを目的とし、介護用入浴機器に設置し、利用者の身体を支える又は移動・移乗等を助けることができる機器をいう。

対象部品：手すり、アームサポート、アームレスト、ハンドレール、サイドフェンス、
サイドバー、サイドレール等

3.2 評価項目例

安全手すりの品質評価に用いる評価項目の例をいう。

4. 評価項目例

No.	評価項目	種別	説明	参照元
1	静的強度	水平荷重	利用者の寄りかかりを想定した強度	※1, ※7, ※18
2		鉛直荷重	利用者の立ち上がり等を想定した強度	※2, ※9
3		上方荷重	器具を使った機器の持ち上げを想定した強度	※8, ※10, ※18
4	動的強度	耐衝撃性	壁などへの接触、もしくは利用者の体幹が崩れたことを想定した強度	※3
5	安定性	側方安定性	該当器具に荷重をかけた場合の機器の安定性	※6
6	耐久性	水平方向荷重	水平方向にかかる、繰り返しの荷重を想定した耐性	※4
7		鉛直方向荷重	鉛直(下方)方向にかかる、繰り返しの荷重を想定した耐性	※5
8		温度耐性	機器使用可能温度範囲での耐性	※12
9	素材耐性	温度耐性	機器の使用可能温度範囲の耐性。	※11
10			ヒートサイクル試験など。	
11		耐候性	紫外線劣化試験、塩水噴霧試験など	※12, ※13
12		水質耐性	温泉、地下水等の耐性	—
13		薬品耐性	消毒・滅菌・殺菌の薬品耐性	※14
14		材料有害性	人体に有害な物質の含有有無	※15
15		皮膚接触感覚	表面硬度。感触、柔らかさ、擦れ等の官能評価	※16, ※17

4-1. 参照元

- ※ 1 : JIS T 9260 :福祉用具-入浴用いす 8.3 c)ひじ掛けへの水平荷重
- ※ 2 : JIS T 9260 :福祉用具-入浴用いす 8.3 d)ひじ掛けへの鉛直荷重
- ※ 3 : JIS T 9260 :福祉用具-入浴用いす 8.4 b)ひじ掛けの耐衝撃性
- ※ 4 : JIS T 9260 :福祉用具-入浴用いす 8.5 c)ひじ掛けの耐久性(水平方向)
- ※ 5 : JIS T 9260 :福祉用具-入浴用いす 8.5 d)ひじ掛けの耐久性(鉛直方向)
- ※ 6 : JIS T 9260 :福祉用具-入浴用いす 8.2 c)側方安定性
- ※ 7 : JIS T 9201 :手動車椅子 10.2.2アームサポート下方耐荷重試験
- ※ 8 : JIS T 9201 :手動車椅子 10.2.3アームサポート上方耐荷重試験
- ※ 9 : JIS T 9203 :電動車椅子 12.2.1アームサポート下方耐荷重試験
- ※ 10 : JIS T 9203 :電動車椅子 12.2.2アームサポート上方耐荷重試験
- ※ 11 : JIS C 60068-2-30 :環境試験-温湿度サイクル試験
- ※ 12 : JIS K 7350-1 :プラスチック-実験室光源による暴露試験方法
- ※ 13 : JIS Z 2371 :塩水噴霧試験方法
- ※ 14 : JIS K 7114 :プラスチック-液体薬品への浸せき効果を求める試験方法
- ※ 15 : JIS T 0993-1 :医療機器の生物学的評価
- ※ 16 : JIS K 7202-2 :プラスチック-硬さの求め方
- ※ 17 : JIS Z 9080 :官能評価分析-方法
- ※ 18 : 福祉用具共通試験方法 :手動車いすの認定基準及び基準確認方法

解説

1. 制定の趣旨及び経緯

過去、介護用入浴機器メーカー各社は、独自に安全手すりの評価項目、基準や安全性を設定の上試験を行っていたため、業界内の評価項目にばらつきがあった。

当工業会は、介護用入浴機器メーカー各社が様々な仕様や顧客を持つ中で、安全性を担保するための評価項目の全体像を示し、統一に向けて方向付けを行う。

各介護用入浴機器メーカーは、その評価項目を理解し把握した上で、今までメーカー各社で独自に設定していた評価項目と比較し、安全手すりの品質を向上させるための参考資料とする。

2. 原稿作成の構成員

このガイドラインの制定原案を作成した主な構成員を示す。

機械安全検討部会 2（安全手すり）

(部会長)	阿部 真幸	酒井医療株式会社
(副部会長)	中村 雅明	株式会社アマノ
(委員)	藤田 有	オージー技研株式会社
	秋山 定則	株式会社アマノ
	大倉 陽一	株式会社メトス
	綾部 健	株式会社メトス
	加藤 洋	株式会社フツラ
	平尾 康博	株式会社ヤエス
	石川 真也	株式会社ヤエス
	山本 圭二	株式会社いうら
	篠藤 博憲	パラマウントベッド株式会社
	平本 仁一	パラテクノ株式会社
	中井 卓	エア・ウォーター・メディカル株式会社
	南 孝徳	エア・ウォーター・メディカル株式会社
	守谷 淳	積水ホームテクノ株式会社
	蒔田 和弘	酒井医療株式会社